



北斗句会

令和五年四月定例会（五日）

五十音順

特選

石田きよし選

街灯の路地奥明かし春の雨

大崎石州

花に酔ひ話に酔ひしクラス会

太田黒幸風

微風に会釈を返す犬ふぐり

大森康正

春の宵ひとり静かに緑酒かな

川崎きごう

楚々とした白き傘あり花の下

竹内雲泉

松林の奥に一本白木蓮

田中資凡

黒塚の能の余韻や花の間

長池豆陽

朧なる沖に空母のらしき影

藤田紀潮

川沿ひを長閑に歩くきのふけふ

宮下ひかる



余生なほ落花に揺るる恋ごころ

石田きよし